

2023年度

東京都立大学 大学院

理学研究科〔博士後期課程〕
学 生 募 集 要 項 (4月入学)

試験日 2023年2月7日 (火)

本研究科の入学試験に関する事務は下記において取り扱います。

東京都立大学管理部 理系学務課 理学部教務係

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

電話 042-677-1111 (代表) 内線 3021

<http://www.se.tmu.ac.jp/>

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、変更が生じる場合がありますので、
大学・学部のウェブサイトを随時ご確認ください。

(理学部・大学院理学研究科 入試情報: http://www.se.tmu.ac.jp/entrance_exam.html)

目 次

| | |
|----------------------------------|----|
| アドミッションポリシー | 1 |
| 1 募集人員..... | 6 |
| 2 出願資格..... | 6 |
| 3 出願資格審査..... | 6 |
| 4 障がいにより特別な配慮を希望する場合 | 7 |
| 5 社会人入学を希望する場合 | 8 |
| 6 長期履修制度..... | 8 |
| 7 出願手続..... | 9 |
| 8 入学者選考方法 | 10 |
| 9 合格発表..... | 11 |
| 10 入学手続..... | 11 |
| 11 入学科、授業料及び奨学金制度 | 11 |
| 12 教育訓練等の機会提供..... | 12 |
| 13 注意事項 | 12 |
| 14 入学考査料の振込方法について | 13 |
| 15 個人情報の取扱いについて | 14 |
| 16 2023年度大学院博士後期課程入学試験時間割..... | 15 |
| 17 理学研究科指導教員・連携客員教員及び研究分野紹介..... | 16 |

添付書類

入学考査料振込依頼書

入学願書・受験票・写真票

入学考査料証明書貼付用台紙

ビザ・サポート申込書

大学院 理学研究科 アドミッションポリシー（抜粋）

自然科学の基礎的な知識と考え方を身につけているとともに、創造力と応用力を備えた研究者、教育者、技術者を目指す意欲のある人を求めます。特に博士後期課程では、研究成果を国際的に発信していく力と意欲のある人を求めます。

数理科学専攻

【博士前期課程】

1 理念

数学は自然科学の基礎を担い、その発展に基本的役割を果たしてきました。現在において、その重要性はさらに広く認識されています。本専攻では、数学の主要分野である代数、幾何、解析に应用数理を加えた数理科学の4つの領域に対して、分野の枠組みにとらわれない総合的な立場からの教育・研究を行うことを目指します。

2 求める学生像

- (1) 数理科学における基礎的な理解力を有し、多様な問題意識を持つ人
- (2) 国際的な視野で知識を獲得し、意欲を持って研究課題に取り組むことのできる人
- (3) 課題解決に必要なさまざまな能力の修得に意欲を持つ人

3 入学者に求める能力

- (1) 数理科学の基礎的な学力と志望分野に対する探究心
- (2) 志望分野において自らが主体的に問題を発見し、課題を解決する基礎的な能力

【博士後期課程】

1 理念

数学は自然科学の基礎を担い、その発展に基本的役割を果たしてきました。現在において、その重要性はさらに広く認識されています。本専攻では、数学の主要分野である代数、幾何、解析に应用数理を加えた数理科学の4つの領域に対して、分野の枠組みにとらわれない総合的な立場からの教育・研究を行うことを目指します。

2 求める学生像

- (1) 数理科学の研究において、深くかつ広範な専門知識を持つ人
- (2) 自立した研究者として、独創的かつ国際的な研究を遂行できる人
- (3) 自らの研究の意義や社会的位置づけを客観的に評価できる能力を持つ人

3 入学者に求める能力

- (1) 志望の分野に関する専門的知識と研究を遂行できる学力
- (2) 志望分野において自らが主体的に問題を発見し、課題を解決する能力

物理学専攻

【博士前期課程】

1 理念

素粒子・原子核から原子・分子、多様な構造をもつ物質、宇宙まで、自然界を広く対象とする物理学の基本的な知識と基礎的な研究能力を持つ人材、研究に伴う社会的責任を自覚し、次世代の先端科学を担い得る人材、社会・環境における諸問題を科学の基礎に立って解決し得る有能な人材の育成を目的としています。

2 求める学生像

- (1) 専門的な基礎知識、論理的な思考法、実践的な研究方法の修得に積極的な姿勢を示す人
- (2) 問題の解決、研究遂行、他者との討論、研究成果の発表等の能力の修得に意欲を持つ人
- (3) 物理学の研究者、専門的技術者、教育者を目指す人

3 入学者に求める能力

- (1) 志望分野に関する専門的知識及び物理学全般にわたる広い知識
- (2) 志望分野において自らが主体的に問題を発見し、課題を解決する基礎的な研究能力

【博士後期課程】

1 理念

素粒子・原子核から原子・分子、多様な構造をもつ物質、宇宙まで、自然界を広く対象とする物理学の専門的な深い知識と優れた研究能力を持ち、研究に伴う社会的責任を自覚し、次世代の先端科学を担い得る人材、社会・環境における諸問題を科学の基礎に立って解決し得る有能な人材の育成を目的としています。

2 求める学生像

- (1) 物理学の基礎と応用に関する深く幅広い見識の修得に積極的な姿勢を示す人
- (2) 研究に伴う社会的責任を自覚しつつ、国際的かつ第一線の研究を遂行できる自立した研究者、研究指導者を目指す人
- (3) 独創的な研究計画を立てて研究を遂行する能力、国際的学術雑誌に発表する能力、国際的な研究討論を行う能力、研究成果や意義を伝える能力の修得に意欲を持つ人

3 入学者に求める能力

- (1) 志望分野に関する深い専門的知識
- (2) 物理学の研究を通じて学術の発展に寄与する能力
- (3) 志望分野において、先駆的な研究課題を自ら設定することができ、課題を解決する優れた研究能力

化学専攻

【博士前期課程】

1 理念

原子・分子レベルで物質の構造、性質、反応性を理解し、分子構造の変換により新たな物質を創製することを目的とした化学の基本的な知識と基礎的な研究能力を持つ人材、研究に伴う社会的責任を自覚し、次世代の先端科学を担い得る人材、社会・環境における諸問題を科学の基礎に立って解決し得る有能な人材の育成を目的としています。

2 求める学生像

- (1) 原子や分子およびその複合体や集合体の構造、反応、機能、循環の解明や、新物質の合成に向けた研究に意欲的に取り組むことができる人
- (2) 化学に関する理解を深めたい人
- (3) 研究能力を向上させたい人
- (4) 研究を通じて国際感覚を養い、国際的に活躍したい人
- (5) 将来化学の専門家として働く希望を持つ人

3 入学者に求める能力

- (1) 化学全般にわたる広い知識
- (2) 原子や分子およびその複合体や集合体の構造、反応、機能、循環の解明や、新物質の合成に向けた研究に対する意欲および研究を遂行する能力
- (3) 志望分野において自らが主体的に問題を発見し、課題を解決する基礎的な能力
- (4) 研究を進めるにあたり必要とされる外国語の能力

【博士後期課程】

1 理念

原子・分子レベルで物質の構造、性質、反応性を理解し、分子構造の変換により新たな物質を創製することを目的とした化学の深い知識と優れた研究能力を持ち、研究に伴う社会的責任を自覚し、次世代の先端科学を担い得る人材、社会・環境における諸問題を科学の基礎に立って解決し得る有能な人材の育成を目的としています。

2 求める学生像

- (1) 化学に関する人類の知識の深化に寄与したい人
- (2) 化学の基礎と応用に関する深く幅広い見識の修得に積極的な姿勢を示す人
- (3) 研究に伴う社会的責任を自覚しつつ、国際的かつ第一線の研究を遂行できる自立した研究者、研究指導者を目指す人
- (4) 独創的な研究計画を立てて研究を遂行する能力、国際的学術雑誌に発表する能力、国際的な研究討論を行う能力、研究成果や意義を伝える能力の修得に意欲を持つ人
- (5) 研究を通じて国際感覚を養い、国際的に活躍したい人
- (6) 将来高度な専門性をもった化学の専門家として働く希望を持つ人

3 入学者に求める能力

- (1) 志望分野における高度な専門的知識
- (2) 原子や分子およびその複合体や集合体の構造、反応、機能、循環の解明や、新物質の合成に向けた研究に対する意欲および研究を進展させる能力
- (3) 研究を進めるにあたり必要とされる外国語の能力

生命科学専攻

【博士前期課程】

1 理念

生物が生育していくための基本的な仕組みや高次構造・行動・生態などの解明に向け、目的、手法、問題点などを自主的に設定、実行するための基礎的な力を身につけるとともに、国際的な視野およびコミュニケーション能力も一体的に兼ね備えた学生を育成し、国内外で主体的に活躍できる研究者、教育者、開発者を養成します。

2 求める学生像

- (1) 生物、生命科学に強い興味を持ち、研究、専門的な知識の修得に、主体的に取り組む意欲がある人
- (2) 生命科学の研究を通じて、研究力、企画力、実行力を修得したい人
- (3) 国際的な視野、コミュニケーション能力を備えた研究者、教育者、開発者として社会に貢献する希望を持つ人

3 入学者に求める能力

- (1) 出身大学、学部、専攻は問わないが、生物学、生命科学全般にわたる広い興味を有すること。
- (2) 生物、生命科学あるいは他の分野において、主体的に問題を発見し、課題を解決できる潜在的な能力

【博士後期課程】

1 理念

生物が生育していくための基本的な仕組みや高次構造・行動・生態などの解明に向け、目的、手法、問題点などを自主的に設定、実行するための基礎的・応用的な力を身につけ、高い国際的な視野およびコミュニケーション能力も兼ね備えた学生を育成し、国内外で主体的かつ牽引的な活躍ができる研究者、教育者、開発者を養成します。

2 求める学生像

- (1) 生命科学の分野における独創的な最先端の研究を志す人
- (2) 生命科学についての専門的な知識を修得し、第一線で活躍できる研究力、企画力、実行力を修得したい人
- (3) 国際的に活躍しそれぞれの分野をリードする研究者、教育者、開発者として社会に貢献する意欲を持つ人

3 入学者に求める能力

- (1) 出身大学、学部、専攻は問わないが、志望分野に関する一定の専門的知識を有しているとともに、生物学、生命科学全般にわたって、広く興味を持っていること。
- (2) 生物、生命科学の分野において、主体的に問題を発見し、課題を解決する能力

2023年度 博士後期課程学生募集要項（4月入学）

1 募集人員

| 専攻名 | 募集人員 |
|--------|------|
| 数理学専攻 | 8名 |
| 物理学専攻 | 10名 |
| 化学専攻 | 9名 |
| 生命科学専攻 | 16名 |

2 出願資格*

- (1) 修士の学位を有する者又は2023年3月31日までに取得見込の者
- (2) 専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者又は2023年3月31日までに取得見込の者
- (3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は2023年3月31日までに授与される見込の者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）（注）
- (7) (1) から(6) に該当しないが、本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

* 上記(6)または(7)で出願する者は出願資格審査が必要となる。本要項6-7頁の定めに従い申請すること。

(注) 出願資格(6)による者とは下記の要件を満たす者をいう。

- (1) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事したもので、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有するものと同等以上の学力があると認められた者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有するものと同等以上の学力があると認められた者

3 出願資格審査

下記に該当する場合は出願資格審査が必要となります。

- ・前項の2「出願資格」(6)または(7)により出願する者

<申請受付期間>

窓口持参の場合、平日（土・日・祝日は除く）10:00～12:00、14:00～16:00のみ

受付とします。郵送の場合、最終日消印有効とします。

2022年11月15日（火）～ 2022年11月22日（火）

<提出書類>

- ・個別入学資格審査調書（本研究科所定の様式）
- ・最終学歴修了（見込）証明書
- ・最終学歴成績証明書
- ・定形の返信用封筒 1通（出願の可否通知用）

宛先明記のうえ、344円分の切手（速達料金を含む）を貼付すること。

- ・志望理由書（A4用紙1枚）
- ・学歴確認票（本研究科所定の様式）

※志望理由書に関しては、最終学歴後の経歴及び最終学歴後において研究に従事したことがあればその内容も記入してください。また、研究などに従事したことを証明するもの（例えば、論文、学会発表要旨、研究機関による従事証明書、研究指導者による証明書など）があれば添付してください。

※最終学歴修了（見込）証明書、最終学歴成績証明書は出願の際、再度提出する必要はありません。

<指定様式について>

本研究科所定様式は理学研究科ホームページ(http://www.se.tmu.ac.jp/entrance_exam.html)からダウンロードしてください。

<提出先>

東京都立大学管理部 理系学務課 理学部教務係

（「書留速達」とし、封筒の表面左脇に『大学院博士後期課程出願資格審査書類在中』と朱書きしてください。）

<審査結果の通知>

2022年12月9日（金）付けで通知

<出願手続>

事前協議により出願の許可を受けた者は、本募集要項に基づき、出願手続を行ってください。

4 障がいにより特別な配慮を希望する場合

障がいがあるため受験及び修学に際して特別な配慮を希望する場合は、事前に下記要領で申し出てください。本研究科所定様式は理学研究科のホームページ

(http://www.se.tmu.ac.jp/entrance_exam.html)からダウンロードしてください。

<申請受付期間>

窓口持参の場合、平日（土・日・祝日は除く）10:00～12:00、14:00～16:00のみ受付とします。郵送の場合、最終日消印有効とします。

2022年11月15日（火）～ 2022年11月22日（火）

<提出書類>

- ・大学院理学研究科博士後期課程入学試験にかかる協議申出書（本研究科所定の様式）

<提出先>

東京都立大学管理部 理系学務課 理学部教務係

（郵送の場合は「書留速達」とし、封筒の表面左脇に『大学院博士後期課程入学試験にかかる協議申出書在中』と朱書きしてください。）

5 社会人入学を希望する場合

本要項6頁「2出願資格」のいずれかに該当し、かつ、入学時まで同一の企業、研究又は教育機関等において1年以上勤務した経験があり、現在の勤務先の所属長の承認を受けて、入学後も現在の勤務先に引き続き在職できる方について、社会人学生に適した履修形態を提供します。社会人入学を希望する場合は、事前に下記要領で申し出てください。なお、申し出なかった場合でも、一般学生として出願することは可能です。

<申請受付期間>

窓口持参の場合、平日（土・日・祝日は除く）10:00~12:00、14:00~16:00のみ受付とします。郵送の場合、最終日消印有効とします。

2022年11月15日（火）～2022年11月22日（火）

<提出書類>

- ・履歴書（本研究科所定の様式）
- ・所属長の出願承認書（本研究科所定の様式）
- ・研究希望調書（本研究科所定の様式又は本研究科所定の様式にそって作成されたもの）
- ・最終学歴修了証明書又は修士課程（博士前期課程）修了見込証明書
- ・定形の返信用封筒 1通（出願の可否通知用）

宛先明記のうえ、344円分の切手（速達料金を含む）を貼付してください。

※最終学歴修了（見込）証明書は出願の際、再度提出する必要はありません。

<指定様式について>

本研究科所定様式は理学研究科ホームページ(http://www.se.tmu.ac.jp/entrance_exam.html) からダウンロードしてください。

<提出先>

東京都立大学管理部 理系学務課 理学部教務係

（「書留速達」とし、封筒の表面左脇に『大学院博士後期課程社会人出願協議書類在中』と朱書きしてください。）

<審査結果の通知>

申請受付後、面談等が必要な場合は事前に別途通知します。書類審査のみの場合は、通知しません。

2022年12月9日（金）付けで通知

<出願手続>

事前協議により出願の許可を受けた者は、本募集要項に基づき、出願手続を行ってください。

※ なお、本研究科では大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用しています。

6 長期履修制度

本研究科では、学生が就業、出産、育児、介護等の事情により、標準修業年限（博士後期課程：3年）を超えて一定期間の長期にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度を設けています。

長期履修を認められた学生は、標準修業年限内において支払うべき授業料の総額を、認められた長期在学期間で分割して支払うことになります。

<対象者>

次のいずれかに該当し標準修業年限内での修業が困難な者

- ① 常勤職員としての職業を有している者
- ② 出産、育児、介護を行う必要がある者
- ③ その他、特段の事情があると認められる者

<申請手続>

申請手続案内及び申請手続書類一式は理学研究科ホームページ

(http://www.se.tmu.ac.jp/entrance_exam.html) からダウンロードし、他の出願書類と一緒に提出してください。詳細は必ず申請手続案内で確認してください。なお、可否通知発送予定日は下記を予定しています。

<可否通知発送予定日>

2023年 2月20日(月) 付けで通知(予定)

※詳細につきましては、東京都立大学管理部 理系学務課 理学部教務係へお問い合わせください。

7 出願手続

出願にあたっては、必ず事前に志望する指導教員の承認を得てください。

なお、志望する指導教員が課程在学中に退職予定の場合、その後の指導体制について確認してください。

(1) 出願期間

持参する場合……2023年1月12日(木) 東京都立大学(南大沢キャンパス) 8号館中会議室
10:00~12:00、14:00~15:30

郵送の場合……2023年1月 4日(水) から2023年1月11日(水) まで(消印有効)

※「書留速達郵便」とし、封筒の表に『大学院博士後期課程入学願書在中』と朱書きしてください。

※入学願書の郵送期間を考慮した上で、早めに出願して下さい。

※2023年1月23日(月) までに受験票が返送されない場合は必ずご連絡ください。

(2) 提出書類

| 出願書類 | 注 意 事 項 |
|--------------------------------|---|
| ①入学願書 受験票 写真票 | 本研究科所定の用紙によること。(裏面も記入欄あり) ・写真(縦4cm×横3cm)は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面、無帽、上半身 のものを指定欄に貼ってください。 |
| ②成績証明書 | 出身大学(研究科)長が作成したもの(原本) 【※注】 |
| ③修士課程(博士 前期課程)修了 (見込)証明書 | 出身大学(研究科)長が作成したもの(原本) 【※注】 |
| ④修士論文又はこ れに代わるもの | 修士論文を期日までに提出できない場合にはその論文要旨 |

| | |
|--|---|
| <p>⑤振込証明書（A票）または収納証明書（英語サイトからの支払の場合は、Result pageを印刷したもの）</p> | <p>* 30,000円（入学考査料）</p> <p>* <u>出願を受理した後は、一度振り込んだ入学考査料はどのような理由があっても返還しません。</u></p> <p>* <u>東京都立大学大学院（博士前期課程）を2022年9月に修了した者又は2023年3月修了見込の者が受験する場合は入学考査料を徴収しません。</u></p> <p>[振込依頼書による支払の場合]</p> <p>* 入学考査料を振込後、受け取った「振込証明書（A票）」の取扱銀行収納印を確認のうえ、原本を「入学考査料証明書」貼付用台紙に貼ってください。</p> <p>[Webによる支払（e-支払サイト）の場合]</p> <p>* 日本語サイトから支払った場合は、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を「入学考査料証明書」貼付用台紙に貼ってください。</p> <p>* 英語サイトから支払った場合は、印刷した「Result page」を提出してください。</p> |
| <p>⑥返信用封筒</p> | <p>郵送出願者のみ</p> <p>定形の封筒にあて先明記のうえ、344円分の切手（速達料金を含む。）を貼付してください。（受験票送付のため）</p> |
| <p>⑦連絡用宛名シール</p> | <p>合格して入学手続き書類の諸事項について連絡・通知が必要となった場合に使用します。郵便物が確実に届く住所を楷書で明瞭に記入して願書とともに提出してください。出願後に住所の変更があった場合は、速やかに理系学務課理学部教務係に届け出るとともに、郵便局で郵便物転送のための手続を行ってください。</p> |
| <p>⑧入学時ビザ・サポート申請書</p> | <p>入学するためにビザの新規手続、継続手続に関してサポートを必要とする場合は、「留学ビザ取得・更新サポート申込書」を記入の上、出願書類と一緒に提出してください。</p> <p>※サポートは受験時に関するものではなく、入学時に関するものが対象となります。</p> |
| <p>⑨国費奨学金の受給証明書</p> | <p>現在、他大学に在籍する国費外国人留学生（大使館推薦または国内採用）で、本学への進学を希望する場合は、国費奨学金の受給証明書を提出してください。なお本学への進学も含め、上位課程への進学の際に必要な「奨学金支給期間の延長申請」については、現所属の大学に確認してください。</p> |
| <p>⑩長期履修申請書類</p> | <p>入学時より長期履修制度の適用を希望する者は、申請手続案内及び申請手続書類一式を東京都立大学のホームページからダウンロードし、必要書類を記入の上、出願書類と一緒に提出してください。</p> |

【※注】東京都立大学大学院理学研究科（博士前期課程）を2022年9月以降修了した者又は2023年3月修了見込の者は②、③は不要です。

8 入学者選考方法

入学者の選考は口述試験の結果及び修士論文（又はそれに代わる最近の研究概要を記したもの）の内容と出身大学の成績証明書とを総合して行います。

(1) 試験日 2023年2月7日（火）

(2) 試験場 東京都立大学（南大沢キャンパス）8号館、11号館、12号館（予定）

※詳細は受験票返送時に案内します。

(3) 試験科目 (口述試験) 口述を中心とした専門科目の試験を課します。

| 専攻名 | 専門科目 |
|--------|-------|
| 数理学専攻 | 数 学 |
| 物理学専攻 | 物 理 学 |
| 化学専攻 | 化 学 |
| 生命科学専攻 | 生 物 学 |

試験時間割の詳細については15頁のとおりです。

9 合格発表

日 時：2023年 2月20日 (月) 14:00

東京都立大学管理部 理系学務課 理系事務室前に発表

なお、理学研究科ホームページ上にも合格者の受験番号を掲載します。ただし、ホームページ上での発表は参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。

研究科URL： <http://www.se.tmu.ac.jp/index.html>

(電話による可否の問い合わせには応じません。)

(1) 合格者には受験票と引換えに東京都立大学管理部 理系学務課 理学部教務係で合格通知書等を交付します。

交付期間：2023年2月20日 (月) ~ 2月27日 (月) 平日 (土・日・祝日は除く)

10:00~12:00、14:00~17:00

(ただし、2月20日は、14:00~17:00)

(2) 合否の結果を郵便通知で受けたい方は、試験終了後、受験票と返送用の定形外の封筒 (角形2号、24cm×33.2cm) に受験番号とあて先を明記のうえ、720円分の切手 (簡易書留速達料金を含む。) を貼付し、東京都立大学管理部 理系学務課 理学部教務係に提出してください。

10 入学手続

入学手続書類は2023年2月下旬に合格通知書と共に交付します。指定する日時に入学手続を済ませてください。なお、詳細は合格発表後お知らせします。

11 入学料、授業料及び奨学金制度

(1) 入学料

東京都の住民：141,000円 (予定額)

その他の者：282,000円 (予定額)

・入学料の改定が行われた場合、改定後の入学料が適用されます。

*ただし、東京都立大学大学院 (博士前期課程) を2022年9月に修了した者又は2023年3月修了見込の者は入学料を徴収しません。

*なお、「東京都の住民」とは、本人又はその者の配偶者若しくは一親等の親族が入学の日 (2023年4月1日) の1年前 (2022年4月1日) から引き続き東京都内に住所を有する者をいいます。

す。その認定は、本人が東京都内に在住の場合は本人の「住民票記載事項証明書」、その他の場合は東京都内に在住する親族等の「住民票記載事項証明書」及び本人との親族関係を明らかにする戸籍抄本等により行います。

(2) 授業料：年額520,800円（予定額）

- ・授業料の納入方法は、預金口座からの口座振替となります。4月下旬と10月下旬に指定された口座から年額の1/2（260,400円）を振替の方法により納付していただきます。
- ・2022年度中に授業料の改定が行われた場合、改定後の授業料の年額が適用されます。
- ・授業料については、減額又は免除の制度があります。

(3) 奨学金制度

- ・日本学生支援機構奨学金

入学後、日本学生支援機構の奨学生に採用された者には奨学金が貸与されます。

- ・給付型奨学金制度

本学大学院博士後期課程に入学した場合に、奨学金を給付する独自の制度があります。制度の詳細は学生課ホームページ (<https://gs.tmu.ac.jp/scholarship/>) に掲載しています。

(いずれも予算の範囲で選考がありますので、対象者全員が給付を受けられるものではありません。)

1.2 教育訓練等の機会提供

ティーチングアシスタント・リサーチアシスタントや、大学院生を国内外の学術会議に派遣する制度があります。

1.3 注意事項

- (1) 出願書類等に不備がある場合は受け付けません。
- (2) 出願を受理した後は、提出した書類及び振り込んだ入学考査料は、いかなる事情があっても返還しません。
- (3) 試験当日は、必ず受験票を携帯してください。
- (4) 入学許可後であっても受験中あるいは出願手続に不正があったと認められた場合には、入学の許可を取り消します。
- (5) 受験者に対する宿泊施設等の紹介はしません。
- (6) 東京都立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東京都公立大学法人安全保障輸出管理規程」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、注意してください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理のホームページを参照してください。

<https://www.tmu.ac.jp/cooperation/compliance/exportcontrol.html>

1.4 入学考査料の振込方法について

(1) 振込依頼書による支払の場合

- ① 入学考査料(30,000円)は、募集要項に綴じ込んである振込依頼書により銀行振込(電信扱)により振り込んでください。(ただし、ゆうちょ銀行は除く。)
 - ※ 郵便局では振込みはできません。
 - ※ 郵便普通為替証書・現金を願書に同封し納付することはできません。
 - ※ ATM(現金自動預入払出機)での払込みはできません。
- ② 入学考査料振込依頼書に必要事項を記入し、入学考査料を添えて金融機関窓口へ提出してください。なお、振込手数料は各自で負担してください。(みずほ銀行の本店・支店で振り込む場合、手数料は無料です。)
- ③ 振込後、「振込証明書(A票)」(取扱銀行収納印のないものは無効)を「入学考査料証明書」貼付用台紙に貼り付けてください。

(2) Webによる支払(e-支払サイト)の場合

納付方法の詳細は、綴じ込んである「理学研究科・研究生(日本国内からの出願)検定料払込方法」を参照してください。なお、振込手数料は各自で負担してください。

- ① 日本語サイトからの支払
支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」の部分を切り取り、「入学考査料証明書」貼付用台紙に貼付し、出願書類と共に提出してください。
- ② 英語サイトからの支払
支払後、印刷した「Result page」を出願書類と共に提出してください。

支払期限

2022年12月27日(火)～2023年1月12日(木)

(注意)

e-支払サイトにおける手順等に関する質問については、同サイト上の「FAQ」または「よくあるご質問」(<http://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>)を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせてください。

※自然災害被災者に対する入学考査料の免除制度について

下記により被災された場合は、入学考査料を全額免除する場合がありますので考査料の振込前に理系学務課理学部教務係にご相談ください。

- ① 東日本大震災
- ② 平成28年熊本地震
- ③ 平成29年九州北部豪雨
- ④ 平成30年7月豪雨
- ⑤ 平成30年北海道胆振東部地震
- ⑥ 令和元年8月の前線に伴う大雨
- ⑦ 令和元年台風第15号
- ⑧ 令和元年台風第19号
- ⑨ 令和2年7月豪雨

(注) 入学考査料を振り込んだが出願しなかった場合、又は入学考査料を誤って二重に振り込んだ場合は、入学考査料の返還を申請することができます。

詳細は、本学のホームページ

(http://www.tmu.ac.jp/campus_life/tuition/expenses.html)をご確認ください。

「トップページ」→「入試案内」→「大学院入試」→「入学考査料・入学科・授業料」

15 個人情報の取扱いについて

東京都立大学では、個人情報について以下のとおり法令に基づき取り扱いますので、あらかじめご了承ください。

(1) 本学への受験の際にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選抜（出願処理、選抜実施及び合格発表）及び入学手続を行うために使用します。

また、入学者のみ、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料減免・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために使用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成等に使用します。

※その他詳細につきましては、東京都立大学管理部 理系学務課 理学部教務係へお問い合わせください。

(電話042-677-1111 内線3022 E-mail:rikou.r@jmj.tmu.ac.jp)

16 2023年度大学院博士後期課程入学試験時間割

| 専攻 | 2月7日(火) | | 備考 |
|--------|-----------------------------|------------------------------|---|
| 数理科学専攻 | 10:00~12:00 数学 (口述試験) | 13:00~17:00 数学 (口述試験) | 口述試験は、修士論文の発表(15分程度)を含む。 PCを使用してもよい。 |
| | 9:00~12:00 物理学 (口述試験) | 13:00~17:00 物理学 (口述試験) | |
| 化学専攻 | 10:00~12:00 化学 (口述試験) | 13:00~17:00 化学 (口述試験) | 口述試験は、修士論文の発表を含む。 |
| | 9:00~12:00 生物学 (口述試験) | 13:00~17:00 生物学 (口述試験) | |

◎ 受験上の注意

- 1 試験当日は指示された時刻の10分前までに口述試験控室に入室し待機する。その後は監督者の指示に従う。
- 2 試験場及び控室は、当日掲示等により指示する。

17 理学研究科指導教員・連携客員教員及び研究分野紹介

- (1) 教員名の○印は2024年3月、◎印は2025年3月退職予定であることを示します。
- (2) 右端の① ②…の数字は、入学願書の志望専攻分野欄に記入する分野番号です。
- (3) 理学研究科では、東京都の研究所、国立研究開発法人理化学研究所（以下、「理化学研究所」）、国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、「産業技術総合研究所」）、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下、「宇宙航空研究開発機構」）、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下、「日本原子力研究開発機構」）、大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構（以下、「高エネルギー加速器研究機構」）公益財団法人東京都医学総合研究所（以下、「東京都医学総合研究所」）、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター（以下、「東京都健康長寿医療センター」）と連携大学院協定を結んでおり、連携客員教員にも研究指導を受けることができます。各連携客員教員名と研究分野、研究内容はそれぞれの専攻の本学教員リストの後に別枠として載っています。詳細は、連携客員教員の専攻分野番号に対応する本学教員にお尋ねください。

◆ 数理科学専攻

2023年4月(予定)

| 分野 | 指導教員 | | 研究内容 | 分野番号 |
|---------------|------|--------|--|------|
| 解析系 | 教授 | 倉田 和浩 | 偏微分方程式、非線形変分問題 | ① |
| 代数系 | 教授 | 黒田 茂 | アフィン代数幾何学、多項式環論 | ② |
| 幾何系 | 准教授 | 久本 智之 | 複素解析幾何 | ③ |
| 解析系 | 准教授 | 下條 昌彦 | 非線形放物型方程式、無限次元力学系 | ④ |
| 解析系 | 教授 | 吉富 和志 | 偏微分方程式、擬微分作用素 | ⑤ |
| 幾何系 | 准教授 | 高津 飛鳥 | 微分幾何学、幾何解析 | ⑥ |
| 幾何系 | 准教授 | 深谷 友宏 | 幾何学的群論、粗幾何学 | ⑦ |
| 代数系 | 教授 | 津村 博文 | 解析的整数論 | ⑧ |
| 代数系、幾何系 | 教授 | 徳永 浩雄 | 代数幾何学、代数曲線・代数曲面のトポロジー、分岐被覆の数論 | ⑨ |
| 幾何系 | 教授 | 横田 佳之 | 位相幾何学 | ⑩ |
| 幾何系 | 准教授 | 赤穂 まなぶ | フレアー理論、シンプレクティック幾何学 | ⑪ |
| 代数系、幾何系 | 教授 | 上原 北斗 | 代数幾何学、高次元代数多様体の分類理論、連接層の導来圏 | ⑫ |
| 代数系、幾何系、応用数理系 | 准教授 | 小林 正典 | 代数幾何学、Calabi-Yau多様体・特異点とミラー対称性に関わる数理科学 | ⑬ |
| 幾何系 | 教授 | 酒井 高司 | 微分幾何学、部分多様体論 | ⑭ |
| 応用数理系、代数系 | 教授 | 内山 成憲 | 暗号理論、計算数論 | ⑮ |
| 応用数理系、代数系 | 准教授 | 横山 俊一 | 数式処理、計算数論、暗号理論 | ⑯ |
| 応用数理系、解析系 | 准教授 | 石谷 謙介 | 確率論、数理ファイナンス | ⑰ |
| 応用数理系、代数系 | 准教授 | 内田 幸寛 | 計算数論、数論幾何学、暗号理論 | ⑱ |
| 応用数理系 | 准教授 | 鈴木 登志雄 | 計算理論、数理論理学 | ⑲ |

◎研究分野詳細はこちらです。



◆ 物理学専攻

2023年4月(予定)

| 分野 (研究室略名) | | 指導教員 | | 研究内容 | 分野番号 | グループ |
|-------------|---------------------|------------|---|---|------|------|
| 素核宇宙理論 | 高エネルギー理論 (高エネルギー) | 准教授 | KETOV, Serguei◎ | 超弦理論、量子重力理論、素粒子の基礎理論 | ② | A |
| | 原子核ハドロン物理 (ハドロン) | 准教授 | 兵藤 哲雄 | ハドロン物理学、エキゾチックハドロン、共鳴状態の理論 | ③ | |
| | 宇宙理論 (宇宙理論) | 教授 | 藤田 裕 | 高エネルギー宇宙物理学、銀河・銀河団天文学 | ④ | |
| 物性基礎理論 | 非線形物理 (非線形) | 教授 | 首藤 啓 | 非線形動力学、古典および量子カオス | ⑤ | B |
| | 量子凝縮系理論 (量子凝縮) | 教授 准教授 | 森 弘之 荒畑 恵美子 | 極低温原子気体、超流動、超伝導、その他の量子凝縮系に関する解析的及び数値的研究 | ⑥ | |
| | 強相関電子論 (強相関) | 教授 准教授 | 堀田 貴嗣 服部 一匡 | 強相関電子系における新奇な超伝導や磁性、量子臨界現象の理論解析および数値手法開発 | ⑦ | |
| 素粒子・原子・宇宙実験 | 高エネルギー物理実験 (高エネルギー) | 教授 | 角野 秀一 | 電子・陽電子衝突型加速器を用いた素粒子実験、加速器を用いたニュートリノ振動実験、ニュートリノを放出しない二重ベータ崩壊事象の探索実験、宇宙線ミュオンを用いた原子炉や火山の透視観測など | ⑧ | C |
| | 原子物理実験 (原子物理) | 教授 | 田沼 肇 | 低速多価イオン衝突実験、極低温気体中でのイオン移動度とイオン-分子反応、静電型イオン蓄積リングによる原子分子衝突、実験室宇宙物理学 | ⑨ | |
| | 宇宙物理実験 (宇宙実験) | 准教授 准教授 | 石崎 欣尚 江副 祐一郎 | X線ガンマ線天文学、高エネルギー天体物理学、科学衛星による宇宙観測と観測装置の開発 | ⑩ | |
| 物性物理 | ソフトマター (ソフト) | 教授 | 栗田 玲 | 泡沫や粉体、相分離などのソフトマター・非平衡現象の研究 | ⑪ | D |
| | 電子物性 (電子物性) | 教授 | 青木 勇二 | トポロジックな強相関がもたらす新規電子状態の探索と機能開発 | ⑬ | |
| | | 教授 | 松田 達磨 | 超伝導、ワイル・ディラック電子系など | | |
| | 超伝導物質 (超伝導) | 准教授 | 水口 佳一 | 超伝導体や熱電変換材料の新物質探索と物性研究 | ⑭ | |
| | 表界面光物性 (表界面) | 教授 | 柳 和宏 | ナノ物質の表面・界面を対象にした光・電子物性の研究 | ⑮ | |
| ナノ物性 (ナノ物性) | 准教授 | 宮田 耕充 | ナノ物質 (原子層物質, ナノワイヤー, ナノチューブなど) の合成, 構造, 電子状態, 電子輸送特性, 光物性に関する研究 | ⑯ | | |

◇ 物理学専攻連携客員教員

| 分野 | 連携客員教員 | 所属 | 研究内容 |
|--------------------|----------------|----------------------------|--|
| 強相関電子論 (分野番号⑦) | 久保 勝規 | 日本原子力研究開発機構 | 多自由度系における超伝導や多極子秩序などの新奇量子状態の理論研究 |
| 高エネルギー物理実験 (分野番号⑧) | 足立 一郎 西田 昌平 | 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 | SuperKEKB加速器を用いた素粒子標準モデルを超える物理探索 |
| 原子物理実験 (分野番号⑨) | 東 俊行 | 理化学研究所 | 静電型イオン蓄積リングによる原子分子衝突、高速多価重イオンのコヒーレント共鳴励起 |
| 宇宙物理実験 (分野番号⑩) | 石田 学 | 宇宙航空研究開発機構 | X線ガンマ線天文学、高エネルギー天体物理学、科学衛星による宇宙観測とX線望遠鏡の開発 |

※物理学専攻の①・⑫は欠番です。

◎研究分野詳細はこちらです。



◆ 化学専攻

2023年4月(予定)

| 分野 | 指導教員 | | 研究内容 | 分野番号 |
|----------|-----------|-------------------------------------|---|------|
| 錯体化学 | 教授 准教授 | 杉浦 健一 石田 真敏 | 錯体化学・炭素化学・色素化学：新しいπ電子系有機配位子の設計と合成、それらを用いた金属錯体の合成研究、構造が明確な多環芳香族化合物の合成研究、および金属と有機色素の融合による新しい機能性色素の開発 | ① |
| 環境・地球化学 | 教授 | 竹川 暢之 | 大気化学：大気中の微粒子（エアロゾル粒子）を実時間分析できる新しい手法の開発、フィールド観測に基づくエアロゾル生成過程の研究 | ② |
| 無機化学 | 教授 准教授 | 山添 誠司 大浦 泰嗣 | クラスターを中心とする機能性無機材料の創製とその触媒・デバイス応用。放射光分光を用いた機能発現機構の解明。宇宙、地球、環境物質の元素組成・放射性核種を含む同位体組成に関する研究。核的手法による元素分析手法の開発。 | ③ |
| 有機構造生物化学 | 教授 准教授 | 伊藤 隆 池谷 鉄兵 | 核磁気共鳴法を用いた高分子量蛋白質および蛋白質複合体の解析法、および生細胞内の蛋白質の分子動態の解析法についての方法論的研究。核磁気共鳴法を用いた様々な構造生物学的研究 | ④ |
| 有機化学 | 教授 准教授 | 野村 琴広 Abdellatif Mohamed Mehawed | 有機金属化学、有機合成化学、分子触媒化学、反応有機化学、新しい有機高機能材料の開発、分子触媒の特徴を生かした新規精密合成反応の開発と機構解析、新しい有機金属化学種の合成と反応化学、分解・ケミカルリサイクル可能な集積型バイオベースポリマーの創製 | ⑤ |
| 生物化学 | 教授 准教授 | 廣田 耕志 田岡 万悟 | ゲノム編集技術により作製した遺伝子改変細胞を用いた染色体維持機構の解明とゲノム不安定性疾患の治療法開発への応用。プロテオミクス技術を基礎にしたRNA/タンパク質複合体の解析法の開発と細胞機能解析への応用。 | ⑥ |
| 物性物理化学 | 教授 | 廣瀬 靖 | 金属酸化物を中心とする無機固体薄膜材料の合成と機能開発。薄膜成長プロセスを用いた熱力学的準安定相の合成と物性評価、および各種デバイスへの応用。 | ⑦ |
| 反応物理化学 | 教授 | 歸家 令果 | 電子線・レーザー光線・イオンビーム・X線を用いた反応ダイナミクス研究 | ⑨ |
| 有機合成化学 | 教授 | 清水 敏夫 ○ | 新規な構造を有する高周期典型元素化合物の合成、構造、物性とその反応性に関する研究。 | ⑩ |
| 理論・計算化学 | 准教授 | 中谷 直輝 | 電子相関理論、相対論的量子化学、電磁気的分子物性、均一系触媒反応解析。金属錯体、分子錯体やクラスターの構造・反応・ダイナミクスの研究 | ⑪ |
| 同位体化学 | 准教授 | 久富木 志郎 | メスバウア分光法を用いた機能性材料のキャラクタリゼーション。放射性同位元素を用いた金属フラーレンの研究 | ⑫ |

◇ 化学専攻連携客員教員

| 分野 | 連携客員教員 | 所属 | 研究内容 |
|---------------------|--------|-------------------|--|
| 有機構造生物化学 (分野番号④) | 美川 務 | 理化学研究所 | バイオ燃料電池の開発研究、DNA相同組換え関連蛋白質群の分子機構の解明と産業的応用の研究 |
| 生物化学 (分野番号⑥) | 梶 裕之 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 | 糖タンパク質のプロテオミクス研究 |

※化学専攻の⑧は欠番です。

◎研究分野詳細はこちらです。



◆ 生命科学専攻

2023年4月(予定)

| 領域 | 分野 | 指導教員 | | 研究内容 | 分野番号 |
|---------|-------------------------------|--------------|--------------------------------------|--|------|
| 生命科学 | 神経分子機能 | 准教授 | 安藤 香奈絵 | 脳の形成と維持の分子メカニズムとその疾患や加齢における変化 | 1 |
| | 発生生物学 | 准教授 | 福田 公子 | 脊椎動物胚発生時の消化管、胚体外細胞の分化、形態形成の機構の研究 | 2 |
| | | 准教授 | 高島 直士 | 細胞の非対称分裂に関わる細胞極性を形成する機構の研究 | 3 |
| | 細胞生化学 | 教授 | 川原 裕之 | 細胞の増殖と恒常性維持の分子細胞生物学、ユビキチン依存的タンパク質代謝システム | 4 |
| | 細胞遺伝学 | 教授 | 坂井 貴臣 | 学習と記憶、および本能行動の脳制御機構 | 5 |
| | 分子遺伝学 | 教授 | 得平 茂樹 | 微生物の環境変動に対する適応機構と生存戦略、CO2から有用物質を生産する代謝デザイン | 6 |
| | 植物発生生理学 | 教授 | 岡本 龍史 | 植物の受精、胚発生および種子形成の分子細胞機構 | 7 |
| | 神経生物学 | 准教授 | WEITEMIER, Adam | 行動およびシステム神経科学 | 8 |
| | | 教授 | 田村 浩一郎 | ショウジョウバエを用いた分子進化・ゲノム進化、およびパイオインフォーマティクス | 9 |
| | | 准教授 | 高橋 文 | ショウジョウバエを用いた種分化の分子基盤、集団遺伝学 | |
| | 植物環境応答 | 准教授 | 野澤 昌文 | ショウジョウバエを用いた性染色体の進化、低分子RNAの進化 | 10 |
| | | 准教授 | 鐘ヶ江 健 | 植物の環境応答における光センシング機構の研究 | 11 |
| | 環境微生物学 | 教授 | 成川 礼 | 光合成微生物の光応答戦略とその応用利用 | 12 |
| | 動物生態学 | 教授 | 春田 伸 | 微生物の土壌・水圏での動態と物質循環・環境保全に関わる微生物群集機能 | 13 |
| | 動物生態学 | 准教授 | 岡田 泰和 | 生態発生学、生態ゲノミクス、進化生態学、動物の社会行動・性行動、表現型可塑性 | 14 |
| | 植物生態学 | 教授 | 鈴木 準一郎 | 植物を中心とした生態学、保全生物学、数理生態学 | 15 |
| | 動物系統分類学 | 准教授 | 江口 克之 | 陸上無脊椎動物（主に陸上節足動物）の系統分類学、生物地理学 | 16 |
| 准教授 | | CRONIN, Adam | 行動生態学、複雑系生物学、動物生態学、動物行動学 | 17 | |
| 植物系統分類学 | 准教授 | 角川 洋子 | 植物および菌類の系統分類学・進化生物学・島嶼生物学・花生態学・保全生物学 | 17 | |
| 応用生命科学 | 神経分子機能 | 准教授 | 安藤 香奈絵 | アルツハイマー病や自閉スペクトラム症など神経変性疾患の発症機構、ショウジョウバエ疾患モデル | 1 |
| | 発生生物学 | 准教授 | 高島 直士 | mRNAの細胞内局在に関する研究、胚葉運命分離に関する研究 | 3 |
| | 細胞生化学 | 教授 | 川原 裕之 | 免疫応答・細胞癌化・神経変性・糖尿病などを標的とした疾患防御の新機構（タンパク質代謝システムの理解を基盤として） | 4 |
| | 細胞遺伝学 | 教授 | 坂井 貴臣 | トラウマ記憶のショウジョウバエモデル | 5 |
| | 植物発生生理学 | 教授 | 岡本 龍史 | 異種ゲノム育種による新形質植物作出に向けた基礎および応用的研究 | 7 |
| | 幹細胞制御学 (東京都医学総合研究所内) | 教授 | 原 孝彦 | ES/iPS細胞を用いた血液再生医療技術、癌/白血病治療薬の開発研究 | 18 |
| | 分子老化制御 (東京都健康長寿医療センター研究所内) | 教授 | 石神 昭人 | 老化機構の解明と老化制御・アンチエイジング研究 | 19 |

◇ 生命科学専攻連携客員教員

| 分野番号 | 客員教員 | 所属 | 研究内容 |
|------|-------|----------------------|-------------------------|
| 1 | 三浦 ゆり | 東京都健康長寿医療センター 研究所 | プロテオーム解析による疾患バイオマーカーの探索 |
| 1 | 野中 隆 | 東京都医学総合研究所 | 認知症の発症メカニズムの解明と治療法の開発 |
| 2 | 丸山 千秋 | 東京都医学総合研究所 | 大脳皮質の発生・進化のメカニズム解明 |
| 4 | 井上 梓 | 理化学研究所 生命医科学研究センター | 哺乳類のエピジェネティック遺伝機構 |
| 5 | 上野 耕平 | 東京都医学総合研究所 | ショウジョウバエ脳神経細胞の可塑的变化機構 |
| 12 | 飯野 隆夫 | 理化学研究所 バイオリソース研究センター | 未知微生物の培養化と多相分類 |

◎研究分野詳細はこちらです。

